

人とのかかわりを大切にす子 自分で考え行動する子 心身ともにたくましい子

横浜市立永田小学校



学校だより 6月号

令和2年6月1日(児童数配付)

待ちに待った学校再開

校長 中谷一成

臨時休業中は、毎日の体温チェック等お子様の健康観察や家庭での課題への取組等、多大なるご理解とご協力をいただきありがとうございました。緊急事態宣言の解除に伴い、6月1日(月)から学校が再開されました。1日(月)から12日(金)までは分散登校による少人数での短時間授業、15日(月)～30日(火)は、学級での短縮日課の午前授業になります。そして7月1日(水)より通常通りの授業が開始になる予定です。

再開に当たっては、文部科学省から「学校の新しい生活様式」も提示されました。引き続き子どもたちの健康と安全を守り、感染及び感染拡大予防の取組を継続してまいります。今後の感染状況等によっては、非常事態宣言が再度実施され、一斉臨時休業等の措置が講じられる場合もあります。ご家庭でも放課後や休日の生活において引き続き不要不急の外出を控えるなど、感染及び感染拡大予防の取組を継続していただきたいと思います。

学校では、「別れ」の3月から「出会い」の4月、更に運動会が予定されていた5月と大切な時期が新型コロナという突発的な事情から長期にわたり臨時休業になりました。きちんと別れや出会いが出来なかった子どもたちは、学校再開への期待と同時に多くの不安を抱えていることと思います。一方で保護者の皆様や我々教職員は学習の遅れが気になるどころです。学習の遅れを心配するあまり学習優先の気持ちになりがちですが、心の問題を置き去りにしては学力も身に付きません。学級での生活や学習の基盤となるのは、教師との信頼関係や子ども同士のよりよい人間関係です。まずは、感染及び感染拡大予防のため、学校での新しい生活様式に慣れ、子どもが安心して安全に生活することができるようにしながら、少しずつ、先生と子ども、子ども同士のかかわりを工夫し、学級の一員である意識を高めていきたいと思ひます。また、今までにない長い休業により、学校という社会の一員であるという意識が低下している子どもも多いと思ひます。学級への所属意識を高めながら、集団でのルールやマナーを身に付けるようにし、集団の一員であるという意識を高め、徐々に学習の遅れを取り戻していきたいと思ひます。

皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。お困りのことがありましたら遠慮せず学校にご連絡ください。

学校教育目標と今年度の重点取組

令和2年度学校教育目標は「人とのかかわりを大切にしながら、自分で考え行動し、心身ともにたくましい子を育てます」です。全ての教育活動は、この学校教育目標の具現化に向け実施します。5月に予定していた「学校説明会」が開催できませんでしたので、その際にお話する予定でした学校の現状や今年度の重点取組について簡単に説明させていただきます。

まず本校の現状ですが、令和元年度横浜市学力・学習状況調査では、ほぼ全ての教科で市の平均に達しました。学習意識調査でも体育以外は市の平均を超えており、大変バランスよく学力が付いてきています。経年変化を見てもこの4年間で学力が向上してきているのが分かります。

(別紙永田小ガイドブック資料①)また、昨年度まで課題であった活用(知識・技能等を活用する力)が令和元年度には、全ての教科で市の平均を超え、基礎(知識・技能等)、活用両面で学力が向上してきています。読書活動では、平成27年度、年間わずか3千冊だった本の貸出数が、平成30年度には1万2千冊と4倍に増えました。令和元年度は、3月に1か月の臨時休業があったにも関わらず、平成30年度の貸出数を維持しながら、図書室の年間利用者数が平成30年度の約1万3千人から、令和元年度約1万6千人と3千人も増えました。図書室を読書センターとしての利用だけでなく情報センターとして調べ学習等にもよく利用するようになったことが分かります。また、令和元年度よりオーストラリアメルボルン市の小学校と姉妹校提携を結び、6年生が自己紹介カードやそれぞれの町のインフォメーションブックを英語で作成し、姉妹校のペアと交換しました。英語の「書く」「読む」学習のよい意欲付けになりました。

令和元年度体力・運動能力検査では、平成30年度に初めて市の平均を超えた50m走(走力)、立ち幅跳び(跳力)、ボール投げ(投力)は、令和元年度も市の平均を超えました。運動の時間や睡眠時間、運動やスポーツの実施状況は、全国平均に達しました。課題は、反復横跳び(瞬発力)、握力(筋力)、20mシャトルラン(持久力)です。これらの種目は、全国でほぼ最下位の横浜市の平均を更に大きく下回っており大きな課題です。(資料②)一方で給食の残菜が減り、以前は全ての学年で全国平均以下だった身長・体重が半分以上の学年で全国平均を超えました。よく食べ、よく運動をする子どもたちに少しずつ育ってきています。

交通安全については、引き続き大きな課題です。この7年間、毎年、本校児童が関わる交通事故が発生しており、4年前には、本校児童の死亡事故も起きています。大変、痛ましいことであり、今年度こそ、本校児童の関わる交通事故をゼロにしたいと思ひます。

このような実態から令和2年度は「確かな学力の向上」「読書活動の充実」「体力・運動能力の向上」「食育の充実」「安全教育の充実」「インクルーシブ教育の推進」の6つを重点取組として取り組んでいきます。(ガイドブック4ページ)詳細は、本日配布させていただいた「永田小ガイドブック」をご覧ください。なお各学年の現状や学年目標も、本日配布いたしました学校便り特別号や別紙をご覧ください。

これからも教職員、保護者、地域の皆様、また関連機関と連携・協力し、チーム永田で永田の子を育ててまいりたいと思ひます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。